イメージ

消防団活動の課題と対策（概要）

団員の減少	○少子高齢化サラリーマン化 ○負のイメージ ○プライベート重視傾向 ○住民の理解不足	必要性の理解促進 組織風土改革 多様な人材（機能別団員）の導入 分団編成の改編 団員のメリット創出 家族の理解
活動の負担	○訓練などの頻度、拘束時間 ○地元行事にも参加する負担 ○特定の団員への負担の偏り ○活動しない団員の存在	行事・訓練の見直し 出初式等の実施環境改善 慣習に捉われない合理性 訓練レベルの平準化 出動方法等の見直し 活動における DX の推進
実践的な訓練	○操法大会に向けた訓練偏重 ○全団員のスキルアップ不足 ○災害時に役立つ訓練が必要 ○団員としての基礎知識不足	操法以外の訓練の充実 訓練目的の明確化 大規模災害への備え 自主防災など他の組織との連携 平時における研修の実施
旧態依然	○古い慣習が残っている ○活動や飲み会への強制参加 ○高圧的な上下関係によるモチベーション低下	災害時の統制（指揮命令）の必要性団員の声を聴く姿勢 ボトムアップの手法導入 第３者による定期的な実態把握
処遇	○年額報酬が基準以下 ○個人へ支給されていない ○分団に報酬から徴収される	適正な団員報酬額の確保 活動報酬ルール明確化 個人支給の徹底 報酬の不正な扱い撲滅
団運営	○報酬が団運営費に使われる ○協力金の徴収をさせられる ○ホース等活動資機材の購入が個人負担	必要な団運営費の確保 団会計の明朗化 協力金（寄付金等）のあり方見直し コンプライアンス意識の徹底 ハラスメント撲滅（研修による啓発）
コンプライアンス	○ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ意識が希薄 ○訓練中の暴力行為（言動） ○運営費の使途が不明 ○不適切と思われる支出	活動外の行事への参加強制の撤廃 ハラスメント研修の実施 特別職地方公務員としての自覚 倫理の保持の徹底
やりがい喪失	○そもそも自発的入団者が少ない ○活動のメリットがない ○やりがいが見いだせない	消防団の活動への理解促進（行政） 職場や家族の理解 団員としてのスキル向上（実践訓練）